

## 令和7年度 左京区地域保健推進協議会 摘録

令和7年10月30日（木）  
午後2時～午後3時  
左京区役所3階 講堂

### 1 出席者（敬称略）

<委員>

左京医師会会長：米田 武史  
京都府助産師会：後藤 幸恵  
左京区社会福祉協議会会长：坂本 朋子  
左京女性連絡協議会会长：柴田 敬子  
左京保健協議会連合会副会長：片田 住夫  
左京区老人クラブ連合会事務局次長：丹羽 茂子  
左京消防署市民指導係長：佐藤 導英

左京薬剤師会会長：藤田 洋司  
京都府看護協会左京地区理事：小湊 照代  
左京区民生児童委員会副会長：岡野 かつ代  
左京保健協議会連合会会长：藤森 幸一郎  
左京区大原学区市政協力委員連絡協議会会长：岡本 弥一郎  
川端警察署生活安全課長：泉谷 浩  
公募委員：西村 聰

<事務局>

○ 左京区役所

保健福祉センター長：山本 孝  
(健康長寿推進課)

健康長寿推進課長：梅井 和代

担当課長：荒賀 陽子

(障害保健福祉課)

障害保健福祉課長：阿部 孝史  
(子どもはぐくみ室)

子どもはぐくみ課長：西川 保子

子育て相談係長：秋久 裕里

○ 保健福祉局

(医療衛生推進室／医療衛生企画課)

担当係長：吳谷 佳子

### 2 開会挨拶

山本保健福祉センター長

### 3 委員紹介

#### **4 役員の選出**

部会長に米田会長を選出した。

#### **5 議事**

##### **令和6年度保健福祉センター事業及び令和7年度左京区の健康課題と事業取組について**

⇒ 事務局から資料説明。

#### **【質疑応答】**

委員 左京区は大学生が多く 20 歳から 24 歳の人口が多い。大学を卒業して地元に帰る、左京区以外のところで就職するケースが多いと聞くが、卒業後どのくらいの学生が左京区に残られているか。左京区にとどまつていただきたい。

外国の方の出生率も出ていた。そこそこ残っていただけているのか。

行政 地域で住まれる学生の正確なデータはない。

外国籍の方の子育てについては、留学に来られ数年住まれて、その後戻られる方が多いという印象。

例えば、本市職員も大学でこちらに来てそのまま就職したという話も聞く。できるだけ残っていただくような魅力ある京都の発信をしていきたい。

委員 家賃が高いので、若い人は京都市に住みにくい、郊外や他のところに住むという話は新聞報道では度々出ている。

行政 今日の新聞報道でも特殊出生率が出ていたが市外転出が多い。土地が高い、家賃が高い、生活し難いことを危惧されていることが多いので、京都市にとどまるような政策、施策の展開を考えていくことが我々の課題と考えている。

委員 左京区の人口は減少し、世帯数は増えているが、地域によっては、大規模場な宅地造成などがあり、今後、双方の増加も想定される。そのことに対する保健行政などの取組をお聞きしたい。

行政 確かに地域によっては人口、世帯数の増加に伴い、行政サービスのニーズの増加が想定される。しかし、現時点では予測困難である。

委員 如何なる将来にも対応できるよう警察行政も含めてしっかりリサーチを願いたい。

#### **6 閉会**